

No. 1 創刊1号 2001年6月発行

淀川水系 流域委員会 猪名川部会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

CONTENTS

- 第1回猪名川部会の内容……………P.1
- 河川管理者からの説明の概要……………P.5
- 第3回委員会開催のお知らせ……………P.10
- 第3回部会開催のお知らせ……………P.10
- 淀川水系流域委員会について……………P.11
- 猪名川部会委員リスト……………P.13
- 当日資料の閲覧・入手方法……………P.14

平成13年5月23日(水) 第1回猪名川部会が開かれました。



【ザ・リッツ・カールトン大阪「イースト」にて】

第1回猪名川部会の内容

11名の委員が出席し、審議が行われました。部会では猪名川の現状把握を行うため、河川管理者から説明があり、委員との質疑応答が行われました。また、委員会・部会の位置づけについて説明が行われ、今後の猪名川部会の進め方についても審議が行われました。

第1回猪名川部会(2001.5.23開催)速報

1. 部会長からの説明、要望

部会では、実質的な議論により、問題や課題が発見できる。部会で徹底的に議論し、最善若しくは次善の策を考えたい。

弘法大師の三教指帰や、中江兆民らの三酔人経綸問答の智恵も参考に、徹底した自然保護論者、開発推進論者、地域社会・生活を大切にする人など、価値観の異なる人たちが議論しあって解決策を考えることが重要である。

2100年の日本を考える際に、地球、人類、国家の存続など様々な前提があるが、環境問題もその一つである。

発展途上の1901年より2001年の方がはるかに困難な問題に直面している。1世紀後の人達にも評価されるような選択をしていきたい。

河川法改正により、治水、利水に環境が加わったが、環境の範囲は、自然環境だけを考えると対象が狭くなる。社会環境、文化環境についても考える必要がある。

当面の部会の進め方としては、現地をできるだけ詳しく見るという観点からも第2回、第3回ともに現地視察を行ってはどうかと思う。

2. 河川管理者による猪名川の現状説明

河川管理者より、以下内容について説明があった。

- 河川整備計画策定の流れ(現状～課題～対応～集約)
- 猪名川を取り巻く社会環境
- 河道等の整備状況
- 現状(ダム・河道整備)で大雨が降った時に想定される洪水量
- 越水破堤、洗掘、浸透により破堤が生じる可能性のある区間
- 高潮の現状
- 耐震対策

(主な発言内容)

猪名川の堤防に生えている植物の影響で、花粉症に悩まされている住民がいる。堤防のそばに住む人間に対して、治水、利水だけでなく、毎日の生活との関わり先重視

してもらいたい。(委員)

治水に関して、余野川ダムはどうなるか心配である。一庫ダム、箕面川ダム以外にもダムが必要なのか。森林が成熟してきたことにより、災害の発生が少なくなったとの長野の報告もある。現地視察では、止々呂美など余野川ダムの周辺も行ってもらいたい。

(委員)

4つの洪水が説明されたが、雨の降り方の典型的な型として4つに分けられるのか、いろいろな型の中から4つを選んだのか伺いたい。また、上流に降った場合、下流の場合などで出水の仕方が異なるのかについても、お聞きしたい。(委員)

戦後の大雨を4つ選んだところ、それぞれ雨の降り方が異なっていた。(河川管理者)
100年に1回の確率で降る大雨、という説明ではわかりにくいと考え、過去の大きな雨を選んで、それと同じ雨が降ったらどうなるか、2割増しだとどうか、という観点から説明を行なった。(河川管理者)

総合治水対策を考える時、何割を保水、遊水機能で維持するか、何割をダムで維持するか、土地利用の変化などを踏まえて説明して欲しい。(委員)

手持ち資料がないので、次回説明したい。(河川管理者)

洪水時の治水対策のみの説明であったが、環境への対策としては、平常時の水の流し方についても考えて、説明をして欲しい。(委員)

治水、利水、環境と順に説明させて頂きたいので、平常時の水の流し方は、環境のところでも議論してもらいたい。花粉の話のように河川管理者が知らない情報を教えて頂き、河川管理者は自分たちの知っている情報も出していきながら、現状についての情報を共有したい。(河川管理者)

無制限な開発や人間の土地利用の後追いで治水対策を行なってもだめである。まずこういう川にしたいというビジョンがあって、河川計画を考えるべきではないか。発想の転換が必要である。水の氾濫によってできた沖積平野に住んでいる我々は、ある程度洪水を許容し、かつ人命は守るという考えが必要である。需要追随型で利水を考えるとビジョンは出ない。(委員)

日本の河川の中でも、猪名川の管理は非常に難しい。一庫ダムは環境のために水を流せるようなダムではない。池田の濁水を防ぐ為のダムであるが、水を流しても地盤にしみこむため、平常時の河川の水量を維持できず、管理が非常に難しい。(委員)

蛇行部分の水質は非常に悪く、住民生活に悪影響があったが、治水のために直線に改修されて、水質が大幅に改善された。(委員)

今回の現状説明は、夢が無く、今後どうしようかが分かっていないように感じる。猪名川の本質が分かっていないのではないのか。歴史やこれまでの取組みなど、一緒に勉強することが必要ではないか。(委員)

猪名川は、直轄区間周辺は都市、上流は山村で、バラエティに富んでいる。直轄区間が主な対象とは思いますが、上流から下流まで考えていかなければならない。高潮や

治水などの問題の優先順位や、将来を見通した長期的な視点の議論が必要である。全体を網羅した議論が必要ではないか。(委員)

説明の中に、猪名川の特長(池田炭、くぬぎ林、伊丹の酒等)も含めていただくとよかった。また、環境面の説明が聞けなかったのが残念だった。(委員)

過去の洪水の何割増し、何割減の方が分かり易いという説明だったが、他の委員も分かり易いと感じているのだろうか。(部会長代理)

過去の何割増しというのは、時間軸を変えず、量だけを増減させたものである。100年に1度といった確率論の方が良いのであれば、その説明もする。(河川管理者)

確率論による洪水流量の表現と、過去の洪水に基づく割増洪水流量の表現という2つの方法の比較が必要である。すでに進めている事業との関係や優先順位の問題を扱う時などに、2つの方法の間に整合性はあるのか?(部会長代理)

今回は、両者を併用して説明する。(河川管理者)

猪名川は、最上流部に大きなニュータウンが開発されている。こういう状況についても議論に加えてほしいと思う。(部会長)

3. 一般傍聴者との意見交換

余野川ダムのアセスは閣議アセスに準ずる形で行なわれているが、もっと精密なアセスを行なうべきだと思う。閣議アセスの資料を部会に出して欲しい。余野川ダムの湛水地域にオオタカが生息しているという事実があるので、自然環境調査に対する姿勢を聞かせて欲しい。(傍聴)

今回策定する整備計画は直轄区間が基本となるが、それに影響を及ぼす場合には余野川ダムやその地域の説明もすることになる。オオタカについては、専門的な問題なので、大阪府が委員会をつくり、河川管理者も参加している。(河川管理者)

4. 決定事項

第2回猪名川部会は、現地視察とし、6月7日に開催する(JR尼崎駅13:00集合)。
第3回も現地視察とするが、開催日程は、庶務で再度調整を行なう。

以上

*この部会速報は府県等の記者クラブに配布しています。

配布資料リスト

資料名		作成主体	ボリューム (約は枚数)
議事次第		庶務	A4(1)
資料1-1	委員会、部会の位置づけ等について	庶務	A4(1)
資料1-2	淀川水系流域委員会規約	庶務	A4(4)
資料2	当面の部会の進め方(案)	庶務	A4(1)
資料3	猪名川の現状説明	河川管理者	A4(約120)
資料3別冊	第2回猪名川部会(現地視察)案について	河川管理者	A4(3)
資料3別冊補足	第2回猪名川部会(現地視察)へのご出欠状況	庶務	A4(1)
資料4-1	淀川水系流域委員会における庶務の不便の原因と庶務としての今後の対応について	庶務	A4(2)
資料4-2	会議運営のルール等について	庶務	A4(1)
参考資料1	淀川水系流域委員会委員名簿	庶務	A4(2)
参考資料2	委員および一般からの意見	庶務	A4(6)
参考資料3	庶務とのやりとり記録	庶務	A4(4)
猪名川流域環境情報図		河川管理者	1枚

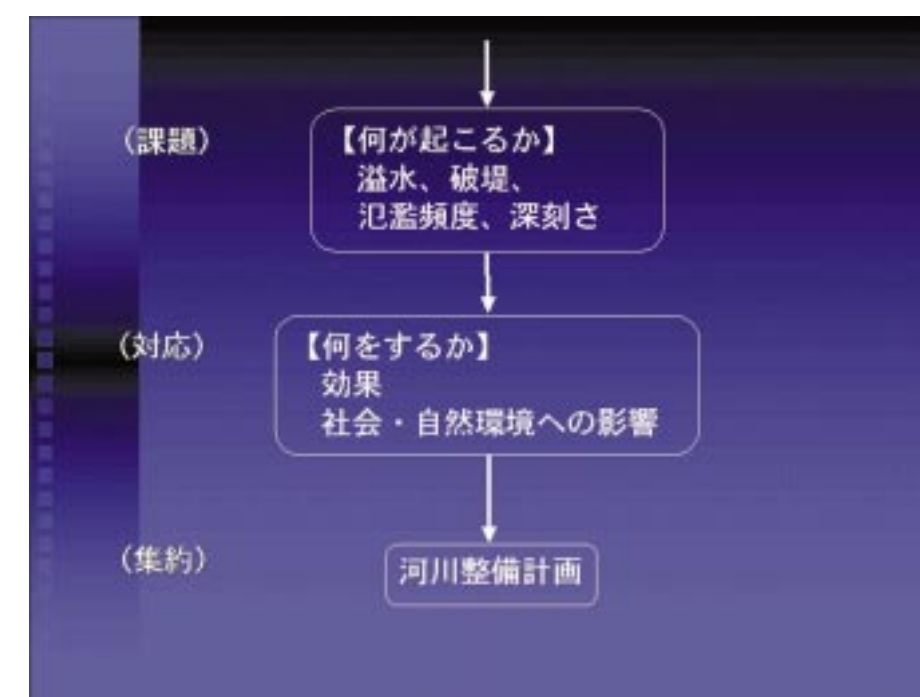
紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP.14の「当日資料の閲覧・入手方法」をご覧ください。ただし、「猪名川流域環境情報図」は閲覧のみ可能です。

河川管理者からの説明の概要

「猪名川の現状説明」(資料3)より

当日は、資料3の一部を用いて猪名川の災害の防止を中心とした説明がありました。以下に主なものを掲載しています。

「整備計画策定の流れ」



「猪名川の河川概要」

1. 猪名川の河川概要

■ 流域図


猪名川は神崎川の支川であり、流域面積は神崎川591km²（神崎橋上流）に対し、383km²を占めます。また、神崎川流域は大阪府、兵庫県および京都府にまたがり、12市3町に及びます。



治水 「猪名川総合治水対策事業」

3. 猪名川の総合治水対策

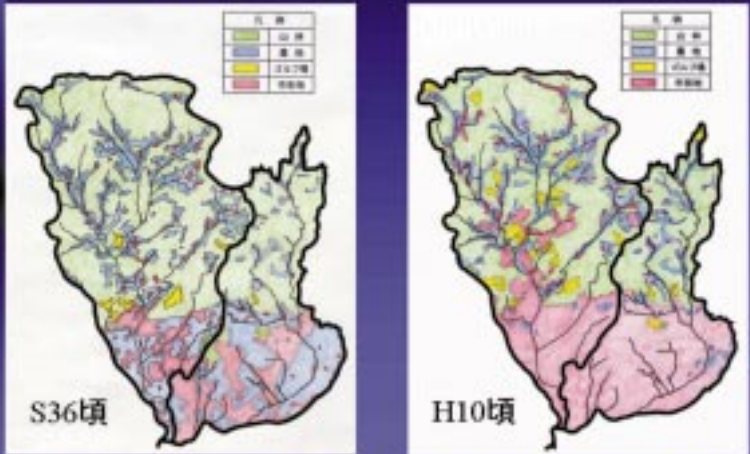
■ 総合治水対策事業
総合治水対策のイメージ



治水 「河道等の現状」

1. 猪名川の河川概要

■ 土地利用の変遷



S36頃 H10頃

猪名川・神崎川流域内の市街化の変遷（赤色部分が市街地）

2. 現状の堤防整備状況

2.1 堤防の有無

支川余野川合流点下流では、川西池田地区の改修を残し、ほぼ堤防が概成しています。



治水 「大雨が降ったときに想定される洪水量」

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

整備計画の基準となる洪水型

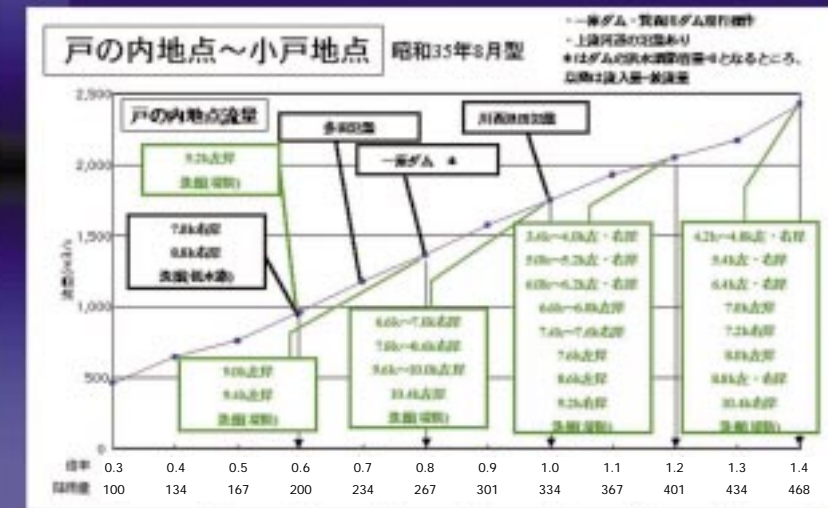
⇒ 猪名川筋

- 昭和28年9月型 上流山地部で多雨
- 昭和35年8月型 中上流部で多雨
- 昭和42年7月型 下流平地部で多雨
- 昭和58年9月型 流域西部で多雨

⇒ 神崎川筋 昭和42年7月型

1. 破堤条件の設定

1.7 洗掘が想定される箇所(猪名川、S35.8洪水型)

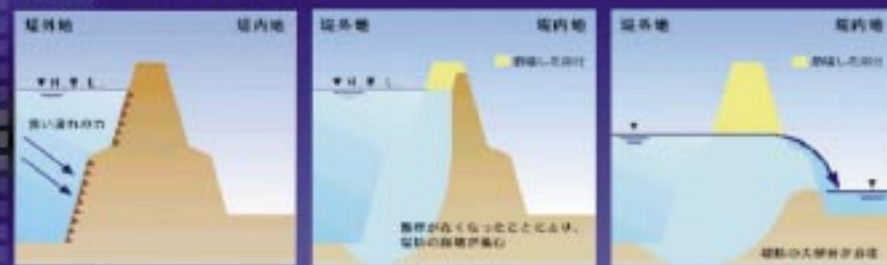


治水 「破堤が生じる可能性のある区間(洗掘)」

1. 破堤条件の設定

1.1 破堤の考え方

■ 洗掘による破堤

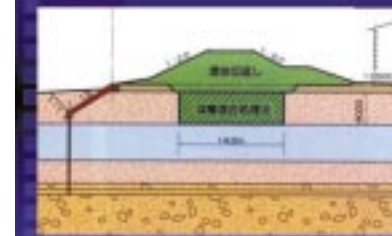


■ 洪水の流れが堤防に当たり堤防が破壊されます。

治水 「堤防の耐震対策」

1. 耐震対策の現状

1.2 復旧状況



耐震対策イメージ



第3回委員会開催のお知らせ

第3回委員会の傍聴をご希望の方、もしくはご意見等をいただける方は、電子メールまたはFAXでお申込みください(別紙 もしくは のFAX送信票をお使いください)。

第3回 委員会

日時：平成13年6月18日(月) 18:00~20:00
場所：新・都ホテル 地階「陽明殿」
京都市南区京都駅八条口
TEL 075-351-0111(代)
*新幹線、JR(八条口)、近鉄京都駅から徒歩2分

第3回部会開催のお知らせ

第3回猪名川部会および琵琶湖部会は、委員の方が現場を見て現状認識を深めるために、流域の現地視察をすることになっております。

部会へのご意見等をいただける方は、電子メールまたはFAXでお送りください(別紙 のFAX送信票をお使いください)。

第3回猪名川部会 (現地視察)

日時：平成13年6月21日(木) 9:30~17:00(予定)
場所：猪名川上流(予定)

第3回琵琶湖部会 (現地視察)

日時：平成13年6月25日(月) 9:30~17:00(予定)
場所：琵琶湖湖南の主要河川等(予定)

注：一般傍聴者、報道関係者の方々と意見交換できる視察ポイントを設定しております。意見交換に参加ご希望の方は、庶務までお問い合わせください。行程をお知らせいたします。(バスでの移動は定員の都合上、河川管理者、委員のみに限らせていただきます。一般傍聴者、報道関係者の方は同乗できませんので、予めご了承ください)。

第3回淀川部会

日時：平成13年7月6日(金) 15:00~17:00
場所：未定(確定し次第ホームページ等でお知らせします)

今後の会議開催日程のお知らせについて

会議の開催日程が正式に決まりましたら、最新のニュースレターやホームページ等で、随時ご報告いたします。

淀川水系流域委員会について

設置の目的

平成9年の河川法改正に伴い、これまでの「治水」「利水」に加えて「河川環境の整備と保全」が法的目的に追加されました。また、これまでの「工事実施基本計画」に代わって、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、今後20~30年間の具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」が策定されることになり、後者については、地方公共団体の長、地域住民等の意見を反映する手続きが導入されました。

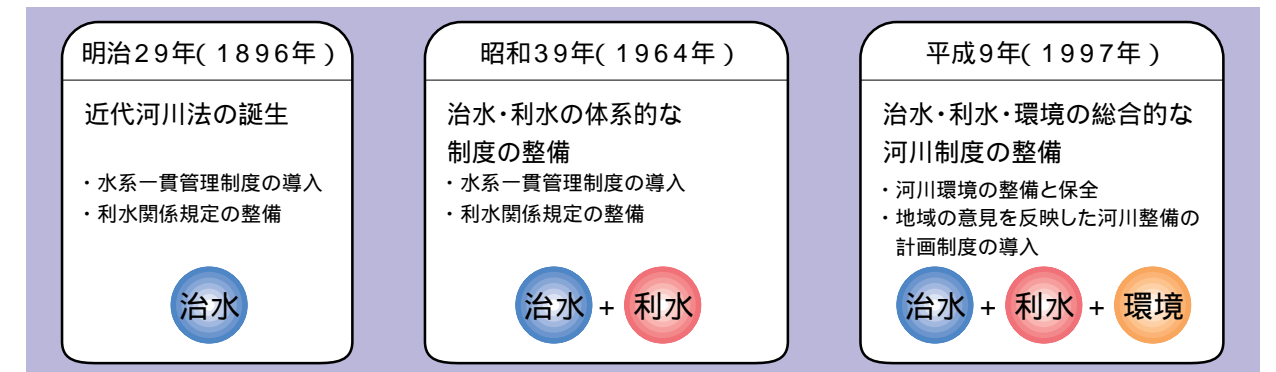
「淀川水系流域委員会」(以下流域委員会)は、淀川水系において「河川整備計画」について学識経験を有する者の意見を聴く場として、平成13年2月1日に近畿地方整備局によって設置されました。

流域委員会の役割

淀川水系流域委員会は主に次のような役割を持っています

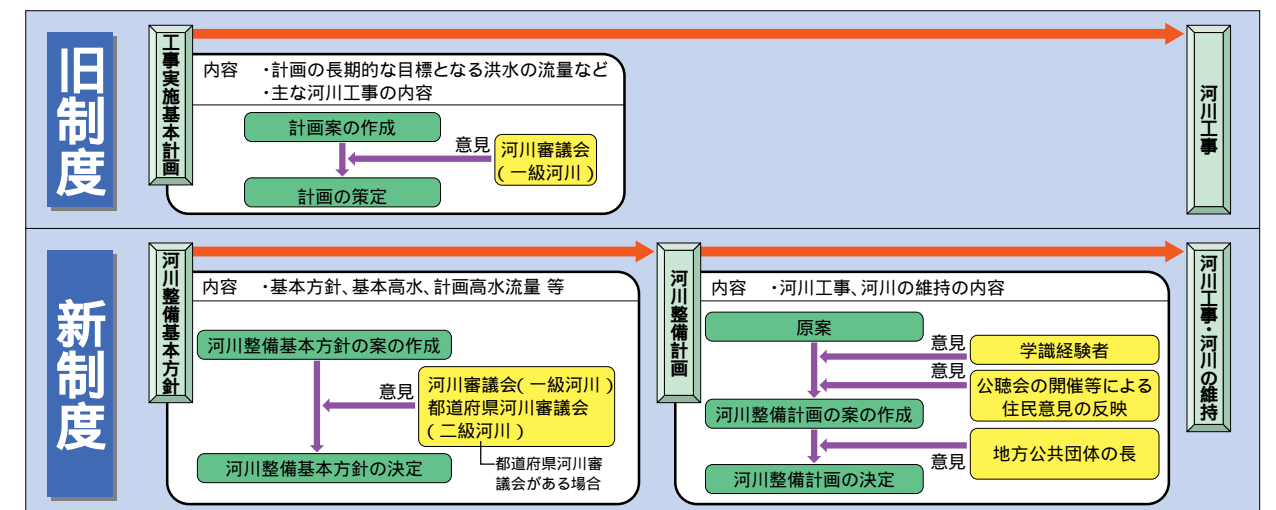
近畿地方整備局が策定する「淀川水系河川整備計画(直轄管理区間を基本)」に対して、意見を述べる。
関係住民の意見の反映方法について意見を述べる。

図 河川法改正の流れ



【近畿地方整備局資料より】

図 新しい河川整備の計画制度



【近畿地方整備局資料より】

流域委員会の構成

流域委員会は、次のような構成になっています。

- ・委員会と3つの部会(琵琶湖、淀川、猪名川)から構成されています。
- ・委員会委員の多くは部会委員を兼務しています。
- ・委員は、治水、利水、環境、人文、その他の幅広い分野から選出されているとともに、地域の特性に詳しい委員が委員会と各々の部会に4名以上選出されています。
- ・委員選出にあたっては、新聞・ホームページ・ニュースレター等での公募も行われました。

図 流域委員会委員の構成

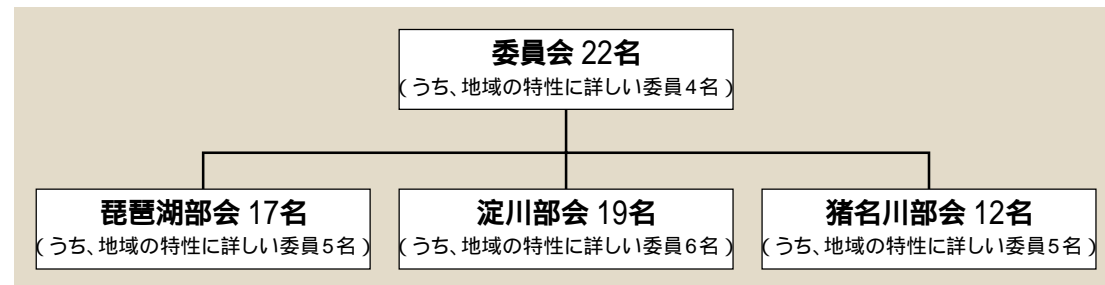


図 淀川水系流域委員会と部会



流域委員会と準備会議

淀川水系流域委員会に先立ち、平成12年7月、淀川水系流域委員会準備会議(以下準備会議)が近畿地方建設局(現近畿地方整備局)によって設置されました。

準備会議は、約半年にわたって、流域委員会のあり方(組織構成、委員、情報公開、住民意見の聴取方法など)について審議を行い、平成13年1月に答申を行いました。

猪名川部会委員リスト

2001.6.12現在
(五十音順、敬称略)

No.	氏名	対象分野	所属等	備考(兼任)
1	池淵 周一 (部会長代理)	水資源(水文学、水資源工学)	京都大学防災研究所 教授	委員会
2	田中 哲夫	漁業関係(魚類生態学)	兵庫県立姫路工業大学自然・環境科学研究所 助教授	-
3	畑 武志	農業関係	神戸大学農学部 教授	-
4	服部 保	植物(植物生態学)	兵庫県立姫路工業大学自然・環境科学研究所 所長、教授	-
5	東山 充	地域の特性に詳しい委員	特になし	-
6	畚野 剛	地域の特性に詳しい委員	川西自然教室 代表	-
7	細川 ゆう子	地域の特性に詳しい委員 (住民運動)	猪名川の自然と文化を守る会	-
8	本多 孝	地域の特性に詳しい委員 (環境教育、人と自然のかかわり)	みのお山自然の会 会長	-
9	松本 馨	地域の特性に詳しい委員(地域自然保護活動、淡水生物調査、環境(自然保護)教育)	池田・人と自然の会 代表	-
10	森下 郁子	動物	淡水生物研究所 所長	-
11	矢野 洋	水質	神戸市水道局水質試験所 所長	-
12	米山 俊直 (部会長)	水文化	京都大学 名誉教授 大手前大学 学長	委員会

注：対象分野欄の()は委員の専門を示しています。

当日資料の閲覧・入手方法

紙面の都合上、ニュースレターでは資料内容を省略していますが、以下の方法で資料を閲覧、または入手することができます。

ホームページ

委員会で使用した資料は、ホームページで公開しております。アドレスは以下の通りです。

<http://www.yodoriver.org>



閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

郵送

郵送による資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております(希望部数が多い場合には、コピー代も実費でいただくことがありますので、予めご了承ください)。

ご希望の方は、別紙の「FAX送信票」にご記入のうえ、FAXまたは郵送で庶務までお申し込みください。

別紙

淀川水系流域委員会 ご意見用FAX送信票

FAX:06-6341-5984

淀川水系流域委員会 庶務宛
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 森永、安達、安藤、北林)

1. 淀川水系流域委員会へのご意見をご記入ください。

寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。

できましたら、ご意見の宛先もご記入ください(委員会、部会など)。

への意見

2 差しつかえなければ下記にご記入下さい。

団体・会社名()

ご住所 (〒)

TEL()

お名前()

別紙

淀川水系流域委員会傍聴申込
および資料請求用FAX送信票

FAX:06 - 6341 - 5984

淀川水系流域委員会 庶務宛
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 森永、安達、安藤、北林)

1. 淀川水系流域委員会 第3回委員会(6/18)への傍聴を希望されますか。

・はい

・いいえ

2. 第1回猪名川部会の資料郵送を希望される方は、必要な資料の部数を、下記リストにご記入下さい。

希望部数が多い場合は、費用をご負担いただくことがありますので、予めご了承ください。

資料名		ボリューム (内は枚数)	部数
議事次第		A4(1)	
資料1-1	委員会、部会の位置づけ等について	A4(1)	
資料1-2	淀川水系流域委員会規約	A4(4)	
資料2	当面の部会の進め方(案)	A4(1)	
資料3	猪名川の現状説明	A4(約120)	
資料3別冊	第2回猪名川部会(現地視察)案について	A4(3)	
資料3別冊補足	第2回猪名川部会(現地視察)へのご出欠状況	A4(1)	
資料4-1	淀川水系流域委員会における庶務の 不手際の原因と庶務としての今後の対応について	A4(2)	
資料4-2	会議運営のルール等について	A4(1)	
参考資料1	淀川水系流域委員会委員名簿	A4(2)	
参考資料2	委員および一般からの意見	A4(6)	
参考資料3	庶務とのやりとり記録	A4(4)	

3. 下記にご記入下さい。(必ず ~ 全てにご記入下さい)

団体・会社名()

ご住所(〒)

TEL()

お名前(複数名での傍聴を申し込まれる場合には、全ての方のお名前をお書き下さい。)

淀川水系流域委員会 猪名川部会ニュース No.1

2001年6月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

株式会社 三菱総合研究所 関西研究センター

研究員：新田、恩地、柴崎、原

事務担当：森永、安達、安藤、北林

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル7F)

TEL:(06)6341-5983 FAX:(06)6341-5984

E mail:k-kim@mri.co.jp

流域委員会ホームページアドレス

<http://www.yodoriver.org>

このニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局 / 淀川工事事務所 / 琵琶湖工事事務所 / 大戸川ダム工事事務所 / 淀川ダム統合管理事務所 / 猪名川工事事務所 / 猪名川総合開発工事事務所 / 木津川上流工事事務所 / 水資源開発公団 関西支社 / 滋賀県 土木交通部河港課 / 京都府 土木建築部河川課 / 大阪府 土木部河川室 / 兵庫県 土木部河川課 / 奈良県 土木部河川課 / 三重県 伊賀県民局

ニュースレターを追加でご希望の方は、淀川水系流域委員会庶務までお問い合わせください。(希望部数が多い場合は、費用をご負担いただくことがありますので、予めご了承ください。)